

県立総合教育センター・スポーツ研修センター 研究発表会講演会

基本理念 きずな
生きる力を育て 絆を深める埼玉教育
埼玉県教育振興基本計画を策定しました。



● 目 時

平成21年 8月3日(月)

午前9時30分～午後4時30分(受付 9時～)

● 内 容

講演会 午前10時～

研究発表会 午後1時～

【昨年度の参加者の声】

- ・組織マネジメントに関わる内容で興味深く聴くことができた。(中)
- ・豊富な資料に基づいた国際的動向を具体的に捉え、そこから日本の問題点を考えることができた。(小)
- ・参加者の校種が幅広く、多岐にわたって協議ができた。(特)
- ・二つの研究発表に参加できたのがよかった。(高)

● 場 所

埼玉県県民活動総合センター・小ホール等(伊奈町)

● 申 込 み

所属長をとおして県立総合教育センターまで:締切り7月17日(金)

[こちらからも電子申請にてお申し込みいただけます。](#)

— 問い合わせ先: 県立総合教育センター 企画・指導運営担当 TEL: 048(874)8131 —

● 講演会

「教師の鍛え方、学校の高め方」

国立教育政策研究所 研究企画開発部 総括研究官 ちちぶ としや 千々布 敏弥 氏

教師の授業力を高める一番の方法は授業研究だ。授業研究を積み重ねるほどに教師の力量は高まっていく。数多くの調査研究がそれを支持している。最近では海外もすぐれた教員研修の方法として日本の授業研究に注目している。

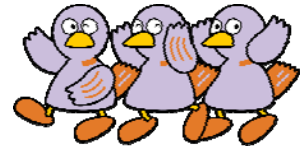
日本の小中学校のほとんどは、何らかの形で授業研究を行っている。だが、効果の低いものも多い。

教師は一人で高まることは難しい。学校全体が高まる中で、教師は力をつけていく。そうするためにはどうすればいいのか。校長はどうすべきか。教頭はどうすべきか。研究主任はどうすべきか。どのような工夫が考えられるのか。教育センターの資源をどう活用するか。指導者をどう確保するか。これらの具体的なあり方について提言していく。



埼玉県のマスコット コバトン

● 研究発表会 (第1～第8分科会)



- 研究発表会についての詳細は、県立総合教育センターHPを御覧ください。

1 読解力を育成する教科指導に係る調査研究(中学校)

- ・ PISA 型読解力を育成する指導方法について
- ・ 理科、技術・家庭（前半の部）、国語、美術（後半の部）での研究成果

2 教科等で考える異校種間の連携の工夫に係る調査研究(小学校、中学校、高等学校)

- ・ 異校種間の連携に基づく小中高12年間を見通した系統的な指導方法について
- ・ 算数・数学、図画工作・美術、美術・工芸（前半の部）、理科、総合的な学習の時間（後半の部）での研究成果

3 学校における緊急支援体制の確立に関する調査研究

- ・ 事件・事故等発生後の緊急対応及び児童生徒の心的ケアについて
- ・ 学校運営正常化のための緊急体制プログラム・児童生徒及び保護者の心的ケアプログラムについて

4 特別支援教育の視点を生かした学級経営の在り方に関する調査研究

- ・ 小中学校、高等学校における特別な支援を必要とする児童生徒を含めた学級経営の取組と課題についての調査
- ・ 特別支援教育の視点を生かした学級経営の工夫をまとめた事例集の作成

5 「親の学習」プログラムによる家庭教育支援の進め方の調査研究

- ・ 「家庭教育のあり方」などの意識調査の実施と結果分析
- ・ 「親の学習」実施上のポイント

6 情報教育推進担当による調査研究

- ・ 先進的技術を用いた情報教育・ICT活用を推進・発展するための調査研究(対象：小・中・高・特)
- ・ デジタル教材(理科)、セマンティックコンピューティング、e-learningの活用（前半の部）
オープンソース、ネットワーク活用モデル事業（後半の部）

7 農業を核とした持続可能な開発のための教育(ESD)に関する調査研究

- ・ 環境教育や食農教育を中心とした、高等学校における「持続可能な開発のための教育(E S D)」実践プログラムの研究開発

8 スポーツ研修センターにおける調査研究

- ・ ネット型ボールゲーム「プレルボール」の教材づくりとその有効性
- ・ 健康・体力づくりのための運動プログラムに関する研究

●前半の部・後半の部に分け、同じ内容で2回実施します。ただし、「1」「2」「6」は前半の部、後半の部で内容が異なります。